

当院産婦人科における臨床研究での患者様の診療録に関する利用につきまして

当院産婦人科では、子宮頸癌、子宮体癌、卵巣悪性腫瘍、卵巣境界悪性腫瘍の患者様を対象とした「日本産科婦人科学会婦人科腫瘍委員会 婦人科悪性腫瘍登録事業及び登録情報に基づく研究」を実施しています。

本研究の目的

本研究は、全国の大学病院をはじめ、日本産科婦人科学会会員が所属する施設で行われている臨床研究です。目的は、1)わが国における婦人科癌の進行期・病理学的分類、2)診断・治療の実態、3)治療成績（5年生存率）、4)登録罹患数や治療指針などの年次推移、5)これらの研究成果を患者や社会が利用しやすい情報として提供する方法等を検討することです。

本研究の概要

当院において、子宮頸癌、子宮体癌、卵巣悪性腫瘍、卵巣境界悪性腫瘍と病理学的に診断された方を対象として、年齢、進行期分類、組織診断、治療法を抽出し、登録を行います。また、3年後、5年後を予後報告として、治療後の健否および最終生存確認年月日の登録を行います。また、対象となる患者様の診療録を収集しますが、特別な治療や検査を行うことはありませんので、患者様に直接何らかの利益または不利益が生じることはありません。

個人情報の保護に関して

対象となりました患者様の住所・氏名など個人が同定されるような情報は、当院以外の第三者に知られることはありません。御自身の診療記録が本研究に利用されることに関して異議のある方、または研究内容について御質問がおりの場合は、研究責任者までいつでもお申し出下さい。

研究責任者

市立四日市病院 産婦人科 統括部長 辻親廣